

# 横行する食品会社の食品偽装事件

## 偽装の歴史 4



現在、高級ホテルや老舗デパートなどで、「メニュー表示」と異なる食材を使う「偽装表示問題」が横行している。今後も食材偽装は、芋づる式に出てくるだろう。

責任者が謝れば済むという問題ではない。それは「食の安全」と常に関わっている問題でもあるからだ。

過去から現在まで、食の安全を脅かした主な事例を取り上げ、それらが、どのような社会的問題を惹起(じゃつき)したのかを検討した。

### 27. 2009年3月 但馬牛産地偽装事件

2009年3月焼肉店「焼肉酒家傳々」「焼肉茶房傳々」「傳々分家」を経営する「フーディーズ」が「ワイの店でお出ししているのは但馬牛一本」と自社サイトで唄いながら実際には20%程度しか使っていなかったとして公正取引委員会から排除命令を受けた。



## 28. 2010年4月 島根県産サザエ産地偽装事件



2010年4月から5月にかけて、イオングループのスーパーマーケット・光洋が、滋賀・大阪・兵庫・奈良の4府県の40店舗に於いて、サザエの特売を実施したが、その際、新聞の折り込みチラシに、「島根県産他国内産」と記載していたものの、実際は韓国産だったことが発覚。消費者庁は同年11月30日に、同社に対し再発防止を求める措置命令。

## 29. 2010年11月 鳴門産ワカメ産地偽装事 ワカメの産地偽装で水産会社前社長を逮捕

逮捕容疑は、同社が製造する湯通し塩蔵ワカメの原材料に中国産ワカメを使用していたにもかかわらず、「生鳴門産わかめ」などと記載された袋に詰め、平成21年1月初旬～6月下旬の間、大阪市内の業者に計約470トンを約7300万円で販売したとしている。



## 30. 2011年5月 産地偽装: ノニジュースをタヒチ産と偽り出荷 容疑者逮捕

起訴状によると、石川被告は2008年から2010年までの間に、健康飲料として知られる「ノニジュース」の原料をインドネシア産やトンガ産にもかかわらず「タヒチ産」と表示して、およそ1万9,000本、総額3,200万円分を全国の小売店などに販売したとされている。



## 31. 2012年3月 兵庫県産米の不適正表示事件

### 兵庫県認証食品



ひょうご推奨ブランド

兵庫六甲農業協同組合(JA 兵庫六甲)が、2012年3月、兵庫県産の米を1割しか含まないブレンド米に「こうべ育ちオリジナル米」の名称を付けて1028袋販売したものの。

兵庫県産以外の残り9割は岩手県産の「ひとめぼれ」を使用、売上の一部を震災復興の義援金にするなどしていたが、店頭での周知も不十分で、消費者からのクレームにより販売を中止。兵庫県が立ち入り調査し、JAS法に基づく改善指示が出された。



### 32. 2012年7月 タマネギ偽装:中国産を「淡路産」に 不正競争防止法違反容疑で加工業者逮捕を逮捕 関西ベジタブル

中国産のタマネギを淡路島産と偽って販売したとして、兵庫県警生活経済課などは10日、農産物加工販売会社「関西ベジタブル」(同県南あわじ市)の実質経営者、森秀文容疑者(57)＝同市＝ら3人を不正競争防止法違反容疑で逮捕した。

捜査関係者によると、同社が今年4月までの約2年間に仕入れたタマネギ約5900トンのうち96%が中国産だったといい、

県警は恒常的に産地を偽装していた疑いもあるとみて、詐欺容疑での立件も視野に追及する方針だ。



### 33. 2011年5月 養蜂業者会長ら2人逮捕 輸入品を国産と偽装容疑



カナダ産などの輸入蜂蜜を国産と偽って販売したとして、神奈川県警は24日、不正競争防止法違反(誤認表示)の疑いで相模原市緑区の養蜂業「ほくと蜂舎」会長の加藤光雄容疑者(65)＝緑区牧野＝と社長の河内久子容疑者(62)＝同＝を逮捕した。法人としての同社も25日、同法違反容疑で書類送検する。2人の逮捕容疑は、2009年2月～10年12月、カナダ産とニュージーランド産の蜂蜜を瓶に

詰め替え、品名を「国産クローバー蜂蜜」、原産地を「北海道」と表示。32回にわたって同県厚木市の業者などに計1355個を計+約138万円で売るなどした疑い。

### 34. 2012年4月 「こうべ育ち米」岩手産の混入9割に 兵庫県調査

JA兵庫六甲の職員4人が2012年3月に、岩手県産米を90%混入した米を「こうべ育ちオリジナル米」と表記することで兵庫県産と偽装し、神戸市内の直売所で販売したとして、不正競争防止法違反の容疑で兵庫県警から同JA共々書類送検された。同JAは、東日本大震災の復興支援のため仕入れていた岩手県産米の売れ行きが不振だったため偽装した模様。

